

高来図書室だより

2021年(令和3年)3月号 NO. 174

諫早市立高来図書室

〒859-0117

諫早市高来町峰19-1

(高来西ゆめ会館内)

TEL 0957-32-2395

開室時間 午前10時～午後6時

<https://www.lib.isahaya.nagasaki.jp>



春のおとずれ

春の季語に「水温む(みずぬるむ)」ということばがありますが、水道から流れる水の感触からも厳しい寒さがひと段落したことを感じます。

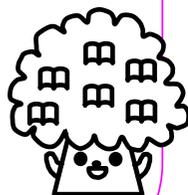
日に日に暖かさが増し、思わず心も弾みますが体調を崩しやすい時期でもありますので、くれぐれもお身体をご自愛ください。



☆ 図書室からのおねがい ☆

☆ 2月18日、19日で行った蔵書点検で、2冊の行方のわからない本がありました。もしご家庭に、諫早市立高来図書室のバーコードがある本が紛れていましたら、図書室までお持ちください。よろしくお願ひします。

☆ 最近「本に汚れやシミが付いていました。」とご指摘を受けることが多くなっています。読書中の飲食は、さけていただければ助かります。



図書館資料を大切に。
ご協力ありがとうございます。

《 雑誌リサイクル 》

高来図書室で購入している雑誌で、保存期限が過ぎたものを無料でおゆずりします。どうぞご活用下さい。

期 間 : 3月13日(土)10:00~

場 所 : 高来図書室カウンター近く
(高来西ゆめ会館内)

※なくなり次第終了します。

図書室からのおすすめ本



「ハンな科学 “イグノーベル賞” 研究40講」五十嵐杏南・著 / 綜合法令出版

イグノーベル賞はノーベル賞のパロディとして、1991年に創設された「人を笑わせ、そして考えさせてくれる研究」に対して贈られる賞です。毎年1万点近くの候補の中から選ばれ、そしてなぜか日本人は受賞の常連で14年連続で受賞しているというのも驚きです。

この本は、イグノーベル賞を受賞した研究の中から、比較的最近のものに焦点をあてて紹介しています。花粉症の改善やいびきの改善という日常的に役立ちそう!?な研究から、研究者自ら体を張った研究などなど、おもしろいだけでなく、いたって真面目に研究した成果の数々にふれて、イグノーベル賞の世界を楽しんでみてください。

3月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	×	2	3	4	5	6
7	×	8	9	10	11	12
14	×	15	16	17	×	19
21	×	22	23	24	25	26
28	×	29	30	31		



今月の
おはなし会は
3月27日(土)
午後2時~です。

※おはなし会は状況により中止になることがあります。

詳しくはホームページをご覧ください。

☒ : 休室日

■ : おはなし会

新着案内

【一般書】



『**飛石を渡れば**』 一色 さゆり／著（淡交社）
従姉に頼まれ、3年前に亡くなった祖母の茶道具を整理することになった星那。茶道の稽古場に通いながら、少しずつ自分の働き方、生き方を見つめ直していき…。月刊『淡交』連載に書き下ろしの中編小説を加えて単行本化。

『**あと十五秒で死ぬ**』 榊林 銘／著（東京創元社）
余命十五秒をどう使えば自分を撃った犯人に反撃できるのか？ 第12回ミステリーズ!新人賞佳作「十五秒」など十五秒後に死ぬという設定で起きる事件を描いた4作品を収録。『ミステリーズ!』掲載に書き下ろしを加え書籍化。

『**じい散歩**』 藤野 千夜／著（双葉社）
明石家は夫婦あわせてもうすぐ180歳。3人の息子は全員独身で…。家族の可笑しみ、さりげない優しさを描き出した、現代家族小説。『小説推理』『文學界』掲載を単行本化。

『**小説秋月鶴山**』 童門 冬二（PHP研究所）
「下意上達」の組織作り、世界初の児童手当、理想の藩校の設立…。上杉鷹山が尊敬し続けた兄で、何よりも「人」を大事にした名君、高鍋藩7代藩主・秋月鶴山(種茂)の生涯を描く歴史小説。



その他の新着本

- ✿ 『医師が教える内臓疲労回復』
- ✿ 『キッチンからはじめる再生栽培』
- ✿ 『赤ちゃんのための補完食入門』
- ✿ 『間取りのすごい新常識』
- ✿ 『世界遺産キリシタンの里』
- ✿ 『天下一のへりくつ者』
- ✿ 『0からはじめるやさしい手縫いの革小物』
- ✿ 『大人かわいい飾り切り』
- ✿ 『65歳からのふたりごはんの愉しみ』
- ✿ 『ベジプロス』
- ✿ 『何とかならない時代の幸福論』
- ✿ 『はじまりの24時間書店』



【児童書】



えほん

『**とっています**』
市原 淳／作（世界文化ワンダークリエイト）

おすもうさんが、すもうを「とっています」。すもうをとりながら、ちようちよを「とっています」。ちようちよをとりながら、足を「とっています」。足をとりながら…。同音異義語のナンセンス絵本。

よみもの

『**衝撃のラスト! 二度読みストーリー**』
山本 省三ほか／物語（ナツメ社）

「思いこみ」を利用したトリックの数々。君はしかけられたトリックを見破ることができるのか? 物語の意味がわかると必ず2回読みたくなる、“どんでん返し”の超短編48編を収録する。

いきもの

『**わかめ およいでそだってどんどんふえるうみのしょくぶつ**』
青木優和/文、畑中富美子/絵、田中次郎/監修（仮説社）

海の底にはえている茶色の布みたいな海藻「わかめ」。そのナゾに満ちた生態とは…。海にすむ「なんじゃこりゃ!」な生き物たちを絵本で紹介するシリーズ第2弾。わかめクイズ付き。見返しにわかめ料理のレシピ等の付録あり。



その他のあたらしい本

- * 『夢をかなえる魔法のうらないBOOK』
- * 『自由帳みせて!』
- * 『マークで学ぶSDGs』
- * 『ひと目でわかる! ウィルス大解剖』
- * 『ナマケモノだから』
- * 『つばきレストラン』
- * 『ながれぼし』
- * 『みえないこいぬぼっち』
- * 『ふつうってどういうこと?』
- * 『響け、希望の音』
- * 『ジャレットと魔法のコイン』
- * 『ルラルさんのつりざお』